

一般社団法人 日本ジュニアヨットクラブ連盟

平成30年度定時総会議事録

日 時 平成30年6月16日（土） 10時30分～12時00分
場 所 東京海員会館 大会議室
東京都中央区晴海3-7-1

1. 定足数の確認

出席会員19名、委任状19名、計38名。従ってジュニアヨットクラブを代表する正会員28名、学識経験者である正会員20名、合計48名の正会員の過半数を超えて定款第32条（総会成立）の定足数に達しているので本総会の成立を確認しました。

2. 開会の挨拶

石原伸晃会長は公務のため出席出来ず、秘書の皆さんも多忙とのことで代理出席も出来ないので、お詫びするとともに、熱心な討議での盛会を祈りますとの連絡がありました。

佐藤精知夫会長代行が、「今年の国際交流競技会は別府市で開催するの予定で、4カ国の外国チームが参加するので、しっかりと運営して良い大会にするよう皆さんで努力しましょう。今日の総会では補欠理事の選出、顧問推薦等の重要案件もあり、来年の国際交流競技会の開催地の案件もあるので十分に審議をお願いします。総会終了後には連盟の会長表彰式もあります。」と開会の挨拶をしました。

3. 来賓の祝辞

（1）（公財）B&G財団

前田康吉会長は所用の為出席出来ず、代理で海洋支援センター岡田聖一次長がご出席頂き、ご挨拶を頂きました。

「ブルーアンドグリーン財団は、全国に471の海洋センター、281の海洋クラブがあり、所員は自治体職員が多く、海での活動で感動を子供たちに伝えたいと思っており、貴連盟と一緒に活動をして行きたいと考えています。」

（2）（公財）日本セーリング連盟

（公財）日本セーリング連盟の河野博文会長から、生憎同連盟の評議員会と重なってしまい、出席出来ないとの連絡があり、他の役員も評議員会に出席しなければならないので誰も本総会に出席出来ずお許し頂きたい、盛会を祈りますと連絡がありました。

4. 議長選出

定款第30条により会長が議長となること公務により欠席の為、定款第14条の2により、又予め会長が指名した順序に従い副会長の佐藤精知夫副会長が議長を務めるところですが、眼がご不自由とのことで、副会長の安井清副会長が議長に選出されました。

5. 議事録署名人選出

定款第34条による議事録署名人選出は議長一任の議決により、以下の2名を議長より推薦し、全会一致で承認、選出され、両氏も了承しました。

笹森 俊夫氏（浅虫ジュニアヨットクラブ代表者）

大平 邦夫氏（いわきジュニアヨットクラブ代表者）

6. 議案審議

(1) 第一号議案 平成29年度事業報告書(案)承認の件

伊藤専務理事より配布資料に沿って平成29年度事業報告書(案)の説明を行いました。

説明終了後、議長より第一号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決されました。

(2) 第二号議案 平成29年度財務諸表(案)承認の件（監査報告）

伊藤専務理事より配布資料に沿って平成29年度財務諸表（案）について説明を行いました。

続いて、平成29年度財務諸表（案）並びに当連盟理事の職務執行状況等について、茅野信行監事より下記の通り監査報告を行いました。

「滝川宗一監事と私（茅野）が平成30年5月11日に監査を行いました。関係帳簿、証憑及び関係書類を監査した結果、公益法人会計基準に沿い、いずれも公正妥当なもの認められました。又、理事会、その他の会議にも出席しておりますが理事等役員の業務執行についても特別問題となる事はなく妥当であると判断いたしましたので併せて報告いたします。」

（監査報告書添付）

その後、議長より第二号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決されました。

(3) 第三号議案 理事2名（中根健二郎氏、内藤武夫氏）辞任承認及び補欠理事2名（野村泰造氏、筒井洋二氏）選任候補（案）承認の件

伊藤専務理事より配布資料に沿って、本定時総会終結の時を以って辞任する辞任届を提出された理事中根健二郎氏、内藤武夫氏の辞任についての承認を頂きたいことと、補欠理事2名として、現在委員として活動頂いている野村泰造氏、筒井洋二氏を選任候補として理事会より推薦するので選任をお願いしたいと説明を行いました。

その後、議長より第三号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決されました。

(4) 第四号議案 顧問3名（中根健二郎氏、内藤武夫氏、小山利男氏）推薦候補（案）承認の件

伊藤専務理事より配布資料に沿って、長年に亘り当連盟の理事、委員としてご活躍、ご指導を頂いて参りました、中根健二郎氏、内藤武夫氏、小山利男氏の3名の方々は、本定時総会終結の時を以って退任されますが、今後は、当連盟の顧問として、引き続きご指導、ご支援を頂きたいと推薦致したいと説明を行いました。

その後、議長より第四号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決されました。

議長は、以上により平成30年度定時総会の議案の審議は全て終了したと閉会を宣しました。

7. 報告事項

(1) 平成30年度会長表彰者決定についての報告

中川二郎常務理事より配布資料に沿って、当連盟の平成30年度会長表彰者3氏を、平成30年5月16日開催の理事会において、岩崎清彦氏（大阪府ヨットセーリング連盟会長）橋本久夫氏（みやこジュニアセーリングクラブ代表者）、岩井一樹氏（三重県ヨット連盟ジュニア・ユースヨットクラブ指導者）に可決決定した旨説明され、表彰式は本日午後3時から当会場において行う旨説明されました。

(2) 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2018（別府大会）について

担当の塩野崎英二理事から現在までの準備状況について、日本スポーツ振興センターからの助成金の内定を頂いたが、別府市等地元では補助金、協賛金の獲得に苦勞している旨説明があった。参加申込締め切りが6月29日であること、ロシアチームから本年の不参加の連絡があったので、本年度の招待国はオーストラリア、ニュージーランド、韓国、香港の4カ国になったことが説明されました。

(3) 第28回ジュニアヨット国際親善レガッタ（ミキハウスカップ東京2018）及び

第7回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ（ミキハウスカップ大阪2018）について

元理事より、ミキハウスカップ東京2018は、昨年と同じ東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所で、9月9日（日）、NPO法人マリンプレイス東京と東京都ヨット連盟の協力を頂いて開催予定であり、江東区のKインターナショナルスクール、幕張インターナショナルスクールその他にも体験セーリングを呼び掛けていると説明されました。

玉置理事が所用により欠席となったので、小野澤理事より、ミキハウスカップ大阪2018は、本年は大阪府ヨットセーリング連盟二色ハーバー（大阪府貝塚市）で、10月21日（日）に、大阪府ヨットセーリング連盟との共同主催で開催予定であること、過去の大会に参加したインターナショナルスクールにも呼び掛けたが、学校側からは参加出来ないとの回答があったこと、特別協賛を頂いているミキハウス社様の来年度入社内定者も関西入社の方が少なく、体験試乗会には参加出来ないとの連絡を受けたので、本年は体験試乗会を中止することになったとの説明が行われました。

(4) 来年度の国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2019の開催地等について

担当の塩野崎理事より説明され、佐藤精知夫副会長が補足説明をされました。

来年8月2日（金）～4日（日）に、東京都（若洲海浜公園ヨット訓練所）又は宮城県名取市（閑上ヨットハーバー）での開催を検討しており、東京都ヨット連盟や宮城県セーリング連盟と打合せを継続していることが塩野崎理事から報告され、佐藤副会長からは、宮城県セーリング連盟棚橋善克会長が閑上ヨットハーバーが再開したので全面的に協力したいと言っていることが説明されました。

8. 閉会の挨拶

司会進行の原田理事より総会での報告事項の終了が案内されました。
最後に、佐藤精知夫会長代行から閉会の挨拶があり、散会しました。

佐藤精知夫副会長挨拶

皆様のご協力で無事に平成30年度定時総会が終了出来ましたことお礼申し上げます。
(12時00分に終了する。)

上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人は記名、押印する。

平成30年6月16日

議 長
神奈川県横浜市旭区白根6-45-15

安井 清

議事録署名人
青森県青森市浜館4-9-9

笹森 俊夫

(浅虫ジュニアヨットクラブ代表者)

議事録署名人
福島県いわき市小名浜大原西細野地103-7「

大平 邦夫

(いわきジュニアヨットクラブ代表者)